

PCフレーム工法

PC FRAME ANCHOR METHOD

総合カタログ & 施工例集

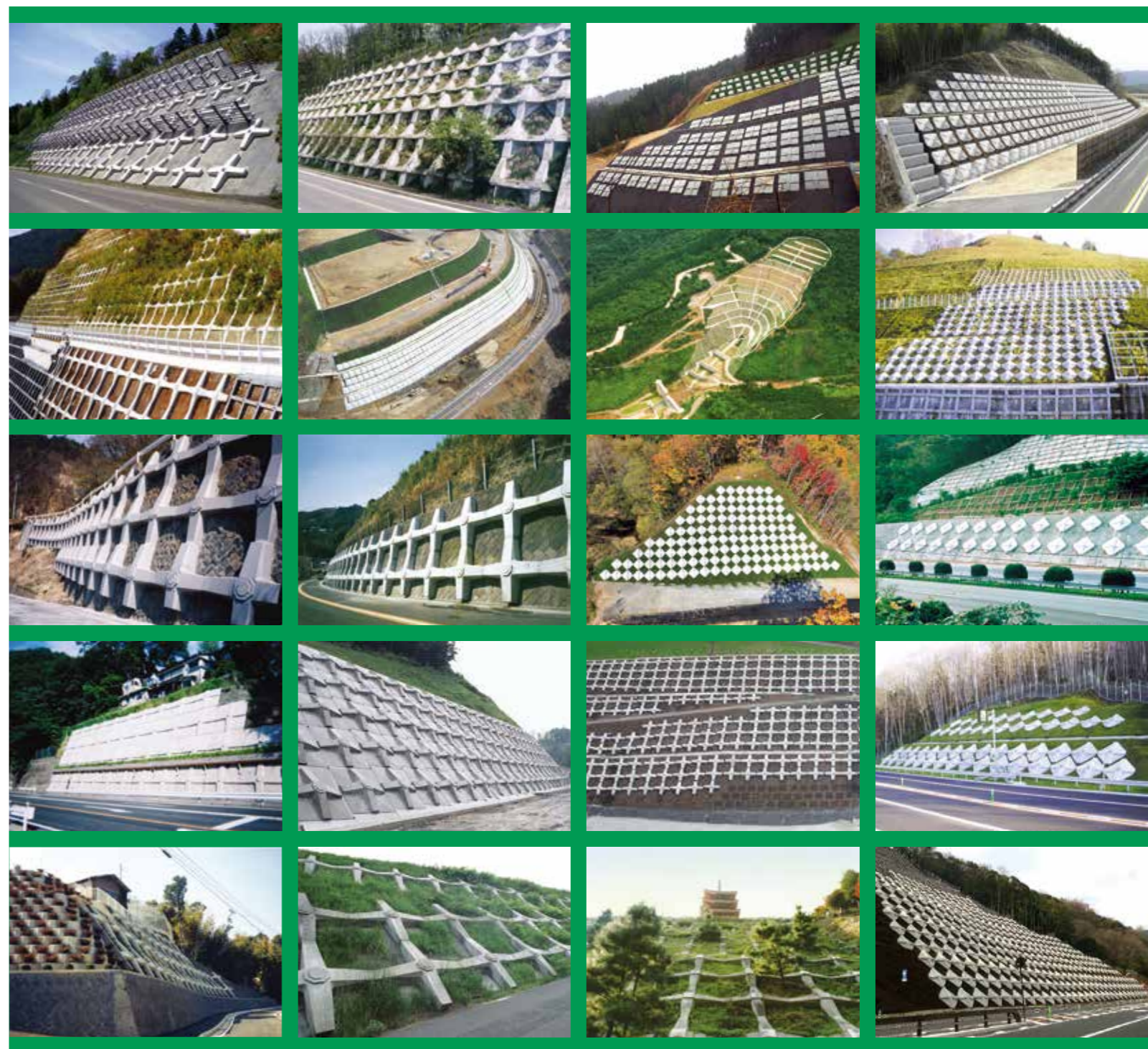
PCF PCフレーム協会

本部	〒163-0717 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル17階	TEL.03-6302-0275 FAX.03-3344-2119
北海道支部	〒060-0061 札幌市中央区南1条西8-14-3 札幌第2スカイビル	TEL.011-272-6044 FAX.011-272-6043
東北支部	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-8-10 あいおいニッセイ同和損保仙台一番町ビル3階	TEL.022-715-6252 FAX.022-262-8446
北陸支部	〒950-0088 新潟市中央区万代1-2-21 ロンドベル万代401	TEL.025-240-0451 FAX.025-240-0452
中部支部	〒507-0826 岐阜県多治見市脇之島町6-51-8	TEL.0572-23-4945 FAX.0572-23-4946
近畿支部	〒550-0015 大阪市西区南堀江1-4-19 なんばスミソウビル	TEL.06-6543-0191 FAX.06-6543-0124
中国支部	〒730-0048 広島市中区竹屋町3-11クレール新本202	TEL.082-247-9908 FAX.082-545-1320
四国支部	〒761-0113 香川県高松市屋島西町1992-1 サーバシティ屋島1301	TEL.087-887-0542 FAX.087-887-0542
九州支部	〒810-0074 福岡市中央区大手門2-3-11 HTC リベルテ大手門ビル	TEL.092-725-7889 FAX.092-711-5092

<http://www.pcframe.co.jp>

E-mail pcfrm@a1.mbn.or.jp

●NETIS登録 KT-990350-A ●特許登録 3167576他数件 ●意匠登録1095851他数件



PCF PCフレーム協会

緑化による多自然のり面の創出



PCフレーム:SS300-40.45.50(長野県松本市)



PCフレーム:HS250-30(栃木県高根沢町)

道路新設・改良・切土のり面



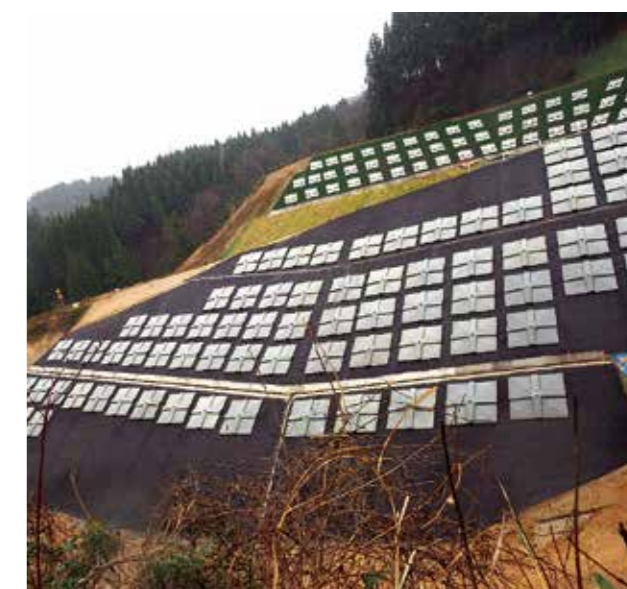
PCフレーム:HSS250-30(長野県飯田市)



PCフレーム:TSS300-30(北海道夕張市)



PCフレーム:HSS250-30(愛知県足助町)



PCフレーム:TSS300-30(北海道厚真町)

急傾斜地対策



PCフレーム:TSS200-35(北海道夕張市)



PCフレーム:TC250-40.45(北海道占冠村)



PCフレーム:HSS250-35.40(岡山県浅口市)

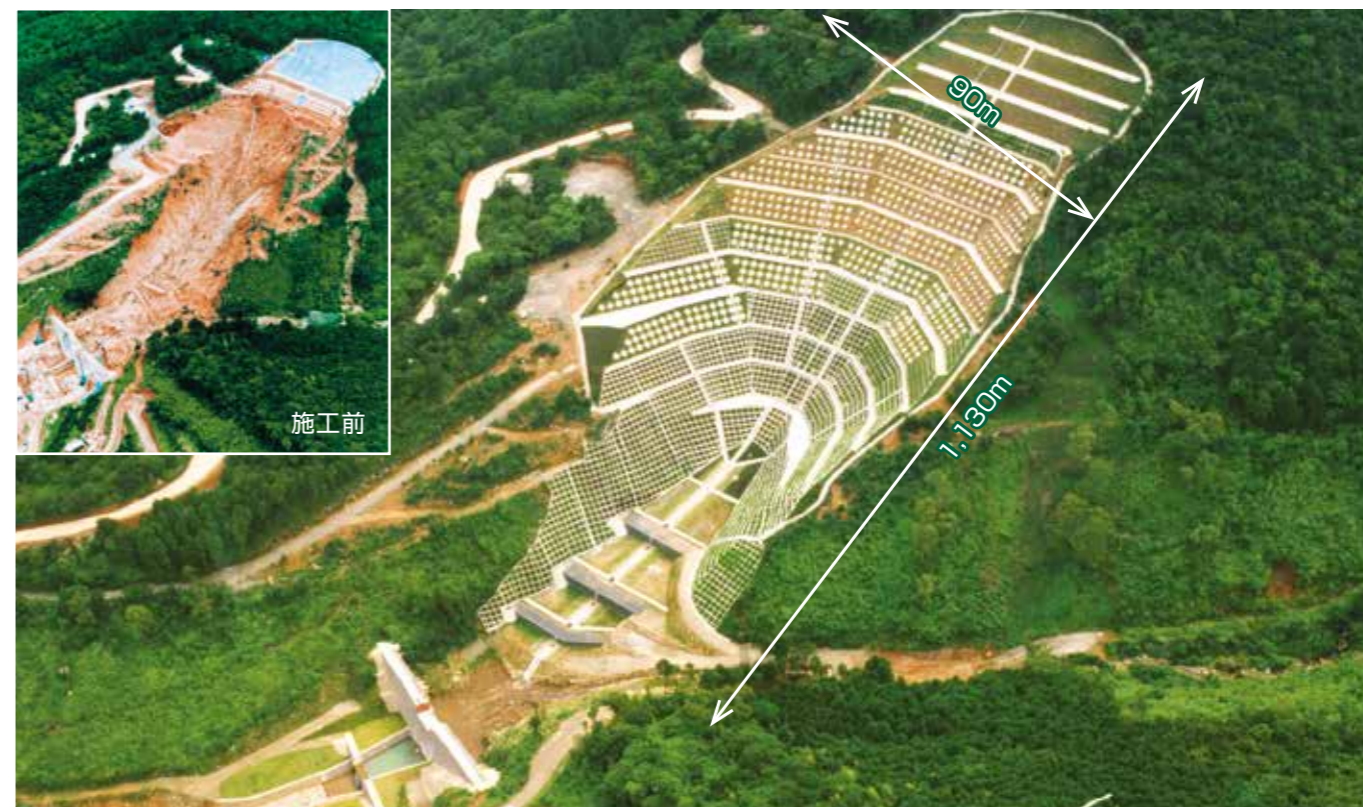


PCフレーム:C300-45(山梨県甲府市)

災害復旧のり面



PCフレーム:BS300-40(福島県いわき市) 施工直後



PCフレーム:SS250-35(鹿児島県出水市) 施工直後

石積・ブロック積の補強



PCフレーム:C250-40.45.50(山梨県甲府市)



PCフレーム:C300-35(長野県和田村)



PCフレーム:C300-40(静岡県東伊豆町)

コンクリート擁壁の補強



PCフレーム:TSS250-50(北海道津別町)



PCフレーム:C300-40(静岡県東伊豆町)



PCフレーム:SS300-35(福岡県北九州市)

擁壁型の施工



PCフレーム:S250-55(広島県広島市)



PCフレーム:S200-55(島根県美保関町)



PCフレーム:HS300-30(群馬県水上町)

地すべり対策工



PCフレーム:HSS300-30(北海道むかわ町)



PCフレーム:C300-35(神奈川県愛川町)



PCフレーム:TC250-40.45(北海道占冠村)

着色・模様付・花壇等



PCフレーム:C200-40



PCフレーム:C300-35(静岡県清水市)



PCフレーム:C200-40(山梨県下部町)

重要建築物の保護



PCフレーム:C300-40(佐賀県基山町)



PCフレーム:C300-35(長崎県佐世保市)

多自然空間



PCフレーム:C300-55(岐阜県大和町) 施工直後



施工数年後



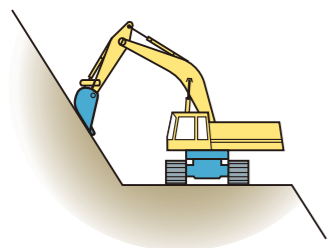
PCフレーム:C300-40 . S300-35(神奈川県川崎市)



PCフレーム:HSS300-30、35、45(広島県呉市)

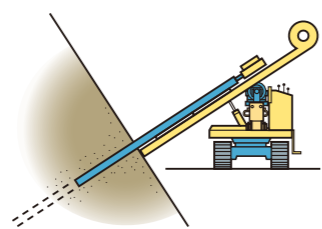
PCフレームの施工手順

1 斜面の切取り



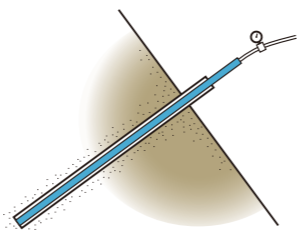
斜面を上部から下部へ、施工時の安全性を確保しながら掘り下げる逆巻き施工で、斜面の切取りを行います。

2 アンカー孔の削孔



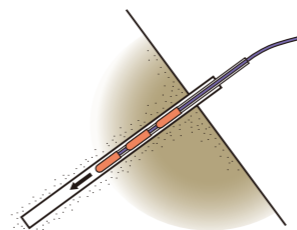
地山や周囲の環境を乱さないよう安全性に配慮した削孔を行います。

3 一次注入



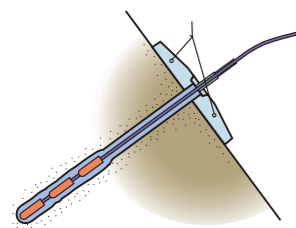
削孔した孔内を清水により洗浄し、スライムを除去します。孔内に残っている洗浄水とグラウト充填材との置換注入を行います。

4 テンドンの挿入



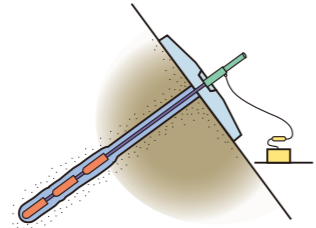
テンドンの挿入は、所定の位置に正確にセットします。グラウトが確実に硬化するまで、テンドンを動かさないようにします。

5 PCフレーム据付け



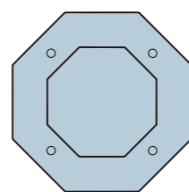
テンドン挿入ののち、空隙のないアンカー体を形成する加圧注入を行い、間ゲキを充填します。グラウトの所定養生期間を経てPCフレームの据付けを行います。

6 緊張・定着



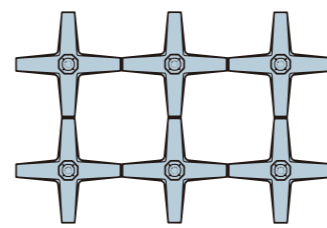
グラウトが所定の強度に達したのち、緊張力とアンカー頭部の変位を確認しながら緊張・定着を行います。

7 キャッピング・完成



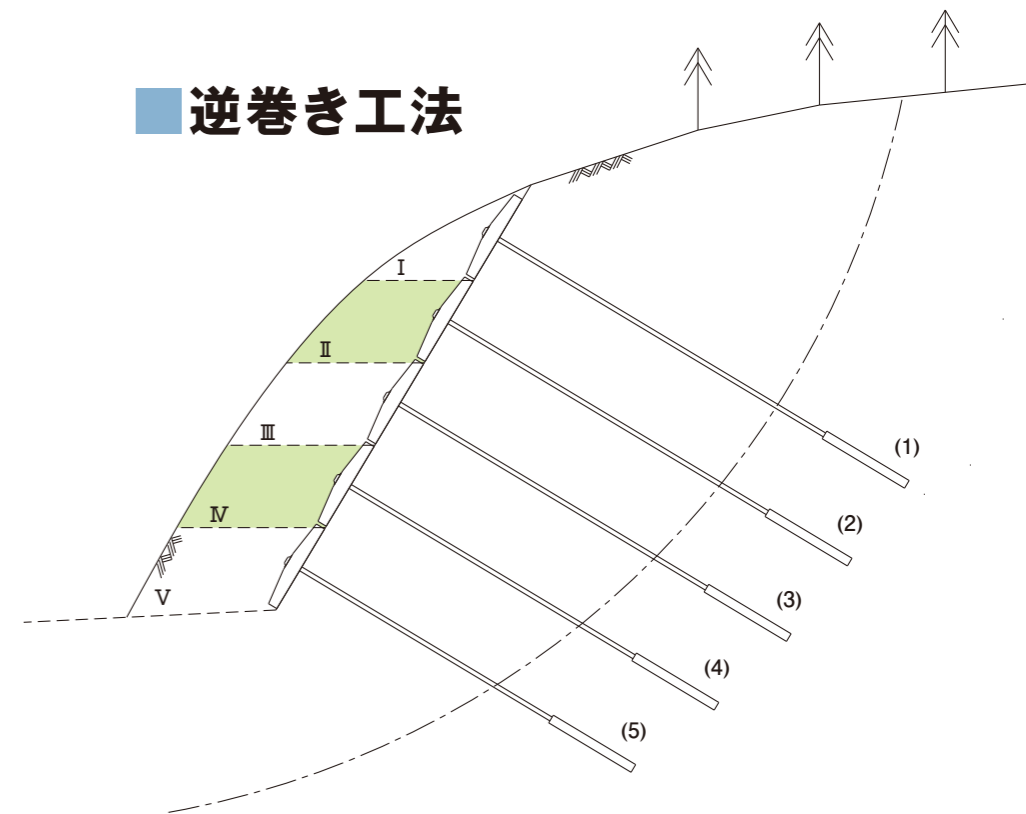
緊張・定着されたアンカー頭部に防錆処理を施し、キャップをセットして作業が終了します。

8 シャープな機能美



高品質のプレキャストコンクリート製PCフレームならではの機能美は、自然環境と調和して美しい景観が得られます。

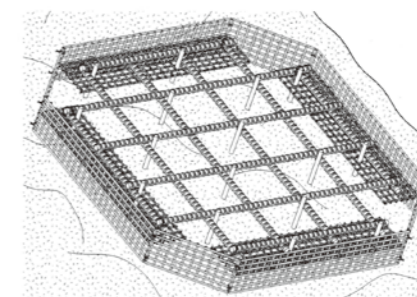
■逆巻き工法



■エフケー不陸調整枠

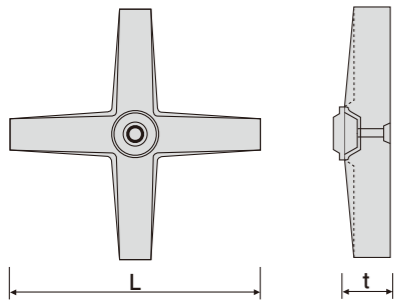
(Bumpy Slope Adjustable Wiremesh Frame)特許第5907443号

あらゆるグラウンドアンカー受圧板に対応。地表の凸凹を解消する不陸吹付台座用の専用金網型枠です。



Hシリーズ

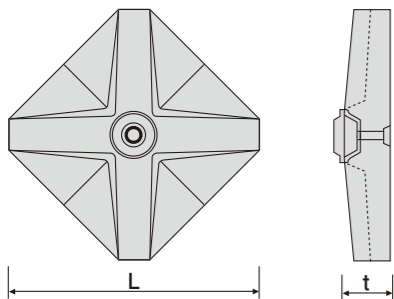
■Hシリーズ・クロスタイプ HC



許容最大設計アンカー力(kN)	呼び名	単体質量(t)	呼び名	単体質量(t)	呼び名	単体質量(t)	
330	HC300-30	1.6	HC250-30	1.4	HC200-30	1.1	
444	HC300-35	1.8	HC250-35	1.6	HC200-35	1.3	
550	HC300-40	2.1	HC250-40	1.8	HC200-40	1.5	
708	HC300-45	2.4	HC250-45	2.1	HC200-45	1.7	
880	HC300-50	2.7	HC250-50	2.4	HC200-50	1.9	
1,100	HC300-55	3.1	HC250-55	2.6	HC200-55	2.1	
受圧面積		2.545m ²	受圧面積		2.168m ²	受圧面積	1.736m ²

コンクリートの設計基準強度 $f'_{ck}=50N/mm^2$ 以上

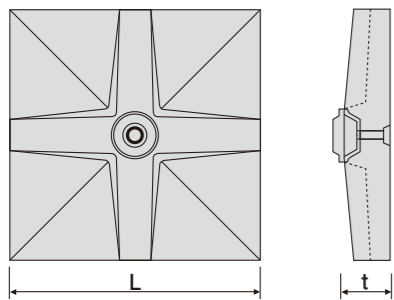
■Hシリーズ・セミスクエアタイプ HSS



許容最大設計アンカー力(kN)	呼び名	単体質量(t)	呼び名	単体質量(t)	呼び名	単体質量(t)	
330	HSS300-30	2.3	HSS250-30	1.8	HSS200-30	1.2	
444	HSS300-35	2.7	HSS250-35	2.0	HSS200-35	1.4	
550	HSS300-40	2.9	HSS250-40	2.3	HSS200-40	1.7	
708	HSS300-45	3.1	HSS250-45	2.8	HSS200-45	2.0	
880	HSS300-50	3.3	HSS250-50	3.3	HSS200-50	2.4	
1,100	HSS300-55	3.9	HSS250-55	3.8	HSS200-55	2.7	
受圧面積		5.121m ²	受圧面積		3.760m ²	受圧面積	2.485m ²

コンクリートの設計基準強度 $f'_{ck}=50N/mm^2$ 以上

■Hシリーズ・スクエアタイプ HS

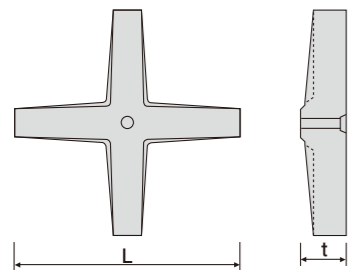


許容最大設計アンカー力(kN)	呼び名	単体質量(t)	呼び名	単体質量(t)	呼び名	単体質量(t)	
330	HS300-30	3.1	HS250-30	2.2	HS200-30	1.5	
444	HS300-35	3.5	HS250-35	2.4	HS200-35	1.6	
550	HS300-40	3.8	HS250-40	2.5	HS200-40	1.8	
708	HS300-45	4.0	HS250-45	3.2	HS200-45	2.2	
880	HS300-50	4.1	HS250-50	3.3	HS200-50	2.4	
988	HS300-55	5.2	HS250-55	4.0	HS200-55	2.8	
受圧面積		8.123m ²	受圧面積		5.523m ²	受圧面積	3.423m ²

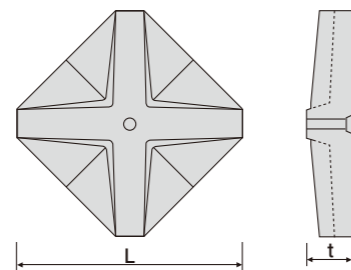
コンクリートの設計基準強度 $f'_{ck}=50N/mm^2$ 以上

Tシリーズ

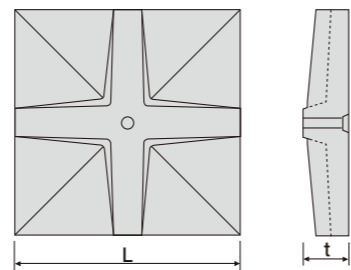
■Tシリーズ・クロスタイプ TC



■Tシリーズ・セミスクエアタイプ TSS



■Tシリーズ・スクエアタイプ TS

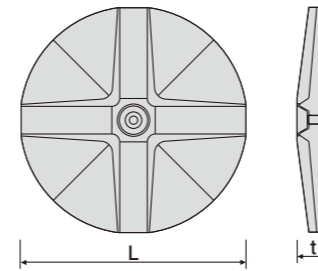


●Tシリーズの規格・寸法は、上記Hシリーズと同じです。

注1) PCフレームの設計は、アンカー力を板底面積全体で等分布荷重として受持つように設定されています。凹凸のある地面では、十分に裏込めをし平坦に施工して、設計条件に合うようにして取付を行って下さい。
注2) コンクリート部材はコワレモノですので、運搬・取扱に十分注意して下さい。

Rシリーズ

■Rシリーズ タイプ R

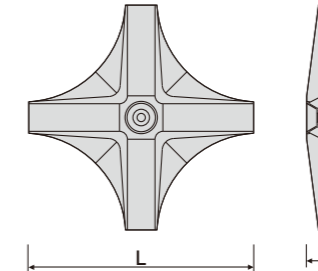


許容最大設計アンカー力(kN)	呼び名	単体質量(t)
300	R300-30	2.7
450	R300-40	3.7
700	R300-50	4.1
受圧面積		6.4m ²

コンクリートの設計基準強度 $f'_{ck}=50N/mm^2$ 以上

Fシリーズ

■Fシリーズ タイプ F



許容最大設計アンカー力(kN)	呼び名	単体質量(t)
330	F300-30	1.9
550	F300-40	2.4
880	F300-50	2.7
受圧面積		3.6m ²

コンクリートの設計基準強度 $f'_{ck}=50N/mm^2$ 以上

■PCフレーム規格の見方

HC300-50



- ①PCフレームのシリーズ名を示しています。
H(Hシリーズ)
- ②PCフレームのタイプを示しています。
C(クロスタイプ)
- ③PCフレームの敷設間隔(アンカーピッチ)を示しています。
300cm(3.0m)
また、製品長は、クロスタイプでは、敷設間隔-10cmです。
 $L=300-10=290cm(2.9m)$
セミスクエアタイプでは、敷設間隔-15cmです。
 $L=300-15=285cm(2.85m)$
スクエアタイプでは、敷設間隔-15cmです。
 $L=300-15=285cm(2.85m)$
- ④PCフレームの最大厚を示しています。
 $t=50cm$

■PCフレーム展開図

